日刊 動労千葉

82.3.13

No. 991

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一-八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

ファシスト労働運動への全面傾斜

第二五回定中 『働こう運動』と『千葉破壊オルグ』を強制・決定した動労「本部」反動分子

全国のすべての闘う仲間の皆さん。

軍事大国化・改憲に向かっての国鉄大合理化・三五万人体制攻撃は、明確にそのほこさきを戦闘的国鉄労働運動の解体にむけて、おそいかかってきている。こうした未曽有の攻撃下にあって、動労「本部」革マル反動分子は、これと真向から対決するのではなしに、これに完全屈服し、国鉄当局の忠実な尖兵として、合理化積極協力方針をついに、第一一五回定中委という機関の場で内外に宣言した。すなわち、国鉄の全労働者、とりわけ動労四万の組合員に「働こう運動」なる断じて許すことのできないファシスト労働運動方針を強要したのである。

第一一五回定中ー「働こう運動」をペテンを弄して暴力的に決定

一月二七～二八日全国戦術委員長会議において「本部」革マル反動分子は政府・国鉄当局の立場に立って、「厳しい情勢」なることのみを、ことさらに並べたて、合理化・三五万人体制攻撃に全面屈服し、「後退局面における特殊な戦術だ」と言いくるめて、「働こう運動」を提案し、強要した。かの、歴史に残る裏切り方針案である『職場討議資料』の表現上の「ことばだけの修正」をして、強要し、『動力車新聞』第一四一〇号でアリバイ的に発表したのである。しかし現場の組合員はこの歴史的裏切り方針に対し、「こんな方針でやれるか！」「反合闘争完全否定だ」「労働組合ではなくなってしまう」と、批判が続出し、組織混乱を起こしている。

全国の多くの支部・職場で「こんなものを組合員に見せられるか！」と「討議資料」が拒否、返上された。わき上る全国の仲間の当然の批判を前にして、動労「本部」革マル反動分子は、職場討論をことごとく封殺し、短期間でゴリ押しし、あげくの果ては、反動的大裏切り路線の本質はそのままに、「表現だけ」をごまかして、第一一五回定中委提案方針としたのである。

すべての皆さん。動労の組合員の皆さん。

戦後国鉄労働運動の諸先輩達が血を流して闘ってかちとってきたさまざまな既得権をも含め、労働組合としての存在そのものが問われるような攻撃とわれわれは今対決している。ところが、こともあろうに、労働組合の側からこれに全面屈服を表明し、率先協力（「働こう運動」）することを動労第一一五回定中委が宣言したのである。このような反動方針を、国鉄労働者、とりわけ動労の労働者に強要する「本部」革マル反動分子こそ、徹底的に断罪され粉砕・一掃されなければならない。「本部」革マル反動分子のみが延命するために、国鉄労働者を当局に売り渡す歴史的大罪である。動労を「産業報国会」にひきずりこむ大反動路線に他ならない。彼等はファシストそのものである。労働者の怒りが爆発するのは当然であり、これに怒らない労働者は、もはや労働者とはいえない。

現場労働者の怒りをそらす為に、動労千葉破壊を絶叫！

このような反動方針強行を画策した定中において、二日目の冒頭、デッチ上げ「千葉地本」書記長＝「本部」革マル反動分子の手先＝土屋粋は、（動労にとって決定的な反動方針について発言するのではもちろんなく）突如として、「千葉動労は、81・3の大量処分がでて、財政的に危機だ」「除名者以外は動労に戻る意志がある」「6・12告訴の様なことがやられるので千葉動労をやめて本部に戻りたいと言う人間が続出している」と最大限のデマを並べたてて、「ただちに全国動員で千葉動労を解体してほしい」と絶叫したのである。

デッチ上げ「支部」「千葉地本」「6・12デッチ上げ告訴」＝警察労働運動、等々……。これらのどの一つをとってみても、闘う動労の伝統を汚す歴史的汚点のオンパレードが、土屋粋が引きまわしているデッチ上げ「千葉地本」の実体である。

全国の動労の組合員の皆さん。第一に、「働こう運動」への全職場からの批判・不満の暴力的乗り切りのために、第二に、デッチ上げ「千葉地本」の絶望的な危機脱出のためにのみ、「本部」反動分子と土屋粋一派は、「全国オルグ」と称して暴力的武装襲撃に再び三たび全国の組合員をかり出そうと画策しているのだ。われわれは断固として徹底的にそのような反動的攻撃をうちくだくことを、はっきりと宣言する。

全ての闘う動労の仲間は、第一一五回定中委の反動路線を粉砕し、動労千葉破壊オルグなる恥知らずな引きまわしを自らの良心にかけて許さず、何よりも動労の戦闘的伝統をつぎつぎと売り渡し変質させていく「本部」革マル反動分子の追放・一掃＝動労大改革のために、全国全職場からの決起を開始せよ。共に闘おう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！